

## 履修単位様式

科目名	人間と科学 I (歴史学)	英語科目名	Cultural Science ( Historical Studies)
開講年度・学期	平成 27 年度・前期	対象学科・専攻・学年	5 年 全学科
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1 単位	単位種類	履修単位 30h
担当教員	酒入陽子	居室 (もしくは所属)	管理棟 3 階
電話	内線 173	E-mail	ysakairi@小山高専のドメイン
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 過去の歴史を学ぶことにより、今日の国際的な社会のしくみや、国家間の、結びつきや対立を、歴史的な視点から説明できる。	①	D	a b
2. 日本の現代社会と前近代社会とを比較して、その違いや特色を説明できる。	①	D	a b
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
到達目標 1-2 : 中間試験および定期試験において 60%以上の得点により達成とする			
到達目標 1-2 : 中間試験の成績、課題に対する提出物、授業での発言や報告内容を、客観的・論理性で評価する			
評価方法			
次の 2 項目に対する加重平均により評価する。			
1. 中間試験および定期試験の成績 : 70%			
2. 小テストおよび提出物の成績、授業中の発言や報告における内容 : 30%			
授業内容			
<b>テーマ 1 :</b> 動く映像が記録に残されるようになった 19 世紀末～第二次世界大戦までの世界の様子を、映像というリアルな資料を見ながら考えていく。			
1. イン트로ダクション 20 世紀の幕開け 2. 第一次世界大戦 —帝国主義の果てに人類が経験したものは— 3. アメリカの繁栄 光と影 —1920 年代のアメリカ— 4. ヒトラーの野望 —なぜ、独裁者は民衆の支持の中から生まれたのか— 5. 第二次世界大戦 —悲惨な戦場とユダヤ人絶滅収容所— 中間試験			
<b>テーマ 2 :</b> 前近代の法令を読む。古代の律令から江戸幕府の法令までの概略をとらえたうえで、個別の法令を読み解きながら、法令に反映されるその時代 (社会) の特色を考える。個別法令では、戦国大名の家法の読み解きを中心とする。			
1. イン트로ダクション —近現代の様々な法 / 法律と契約 誰のための法?— 2. 律令 3. 御成敗式目 4. 建武式目と追加法 5. 戦国大名の家法 6. 武家諸法度 7. 古文書から個別の法令を読み解く			
※上記の内容を適宜取り上げていく予定。 ※授業内容に変更が必要となった場合は、受講者に対して速やかに通知の上これを行なう。			
キーワード	映像 帝国主義 戦争 中世法 戦国大名の家法		
教科書	特に指定しない 授業中にプリントを配布		
参考書	必要に応じて指示する		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	地理、政治経済、歴史、倫理社会、哲学、歴史学		
現学年の関連科目	人間と科学 II		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
講義の中で、授業内容に関連したリアクションペーパー (提出物) の提出を求めますので、積極的に授業に参加するように。			
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 24 日		